



民間クラウドサービス活用

公共情報コモンズ導入モデルの実証実験

第2回合同実証実験

日時:平成25年5月30日(木) 10:30~

場所:石川県地場産業振興センター本館

第5研修室

**平成25年5月
北陸情報通信協議会
安心・安全部会**

民間クラウドサービス活用

公共情報コモンズ導入モデルの第2回合同実証実験

■ 日程：平成25年5月30日(木) 9:30 ~12:00

9:30~10:20

モデルの操作体験

- ☆ モニター（※）が、本モデルを活用した公共情報コモンズへの情報入力作業の操作について、確認と習熟を行います。
- ☆ モニター以外の市町職員のみなさまに、本モデルによる公共情報コモンズへの情報入力の操作を体験していただきます。

※「モニター」とは、次の市の防災担当職員で、本モデルを試用して操作性等について評価を行う。（金沢市、七尾市、小松市、かほく市、白山市、能美市、野々市市）

10:30~11:00

合同実証実験

- ☆ モニターが大規模災害を想定したシナリオに従い、本モデルを活用して公共情報コモンズに順次情報入力します。
- ☆ 一部のモニターが、庁舎外から情報発信する場合を想定して、モバイル型PCから本モデルを活用して、公共情報コモンズに情報入力します。
- ☆ コモンズに入力された情報は、放送事業者が「コモンズビューワ」によって、受信し閲覧します。

（実験参加者以外のみなさまは、この実証実験をご見学いただきます。）

- ア 実験参加者 モニター 及び 放送事業者（NHK金沢、石川県域民放各社）
- イ 実験実施協力 石川県、(株)石川コンピュータ・センター

11:10~12:00

意見交換

- ☆ 「コモンズエディタ」による公共情報コモンズへの情報入力
- ☆ 石川県、モニター、見学していただいた市町職員及びモデル開発者等と意見交換を行います。

12:00

終了

1 実証実験(全体)の概要

1 実証実験の目的

「民間クラウドサービス活用公共情報コモンズ導入モデル」（以下「クラウド活用モデル」）を利用して、自治体のモニターに「情報発信者」として、また、放送事業者に「情報伝達者」としてコモンズを試用してもらい、その際に感じた感想や意見を集約して検討し、このクラウド活用モデルが他の方式に比べ、高い利点を有することを明らかにする。

2 実証実験の概要

- ア 石川県内の自治体（県、7市）の防災担当職員等にモニターを依頼し、「公共情報コモンズ」への「情報発信者」として、操作性や使用感について評価する。
- イ 県内の放送事業者等に「情報伝達者」として、現在のFAX等による情報受信に比べ、受信方法の信頼性、報道・編集作業の利便性や速報性についての評価する。
- ウ 「コモンズエディタ」による入力方法を検証し、導入モデルと比較して評価する。

3 実証実験のスケジュール

- ・モニター説明会及び第1回合同実証実験 5月9日（木）
- ・試用、モニターの期間 5月9日（木）から5月30日（木）
- ・**第2回合同実証実験 5月30日（木）**

4 実験参加者

- ・モニター 石川県、金沢市、七尾市、小松市、かほく市、白山市、能美市、野々市市の各自治体防災担当部署職員
- ・放送事業者 NHK金沢、石川県内の地上波民間放送事業者

5 モニターの概要

モニターは、実証実験実施責任者から指定した専用ホームページにログインし、災害や緊急時に地域住民への災害・関連情報を伝達するという想定で入力画面に沿って入力作業を試し、運用や操作性について評価する。

なお、入力した内容は、各モニターが「コモンズビューワ」（情報掲示画面）で確認する。

5/30の合同実証（第2回）終了後、アンケート等で、本モニターで得た評価を収集し、分析後、総合的に評価する。

2 実証実験の全体イメージ

■ 公共情報コモンズのテストノードを利用し、情報発信者が情報を発信し、情報伝達者が情報を参照します。

